

## 平城宮跡・藤原宮跡の整備

平城宮跡発掘調査部・飛鳥藤原宮跡発掘調査部・庶務部

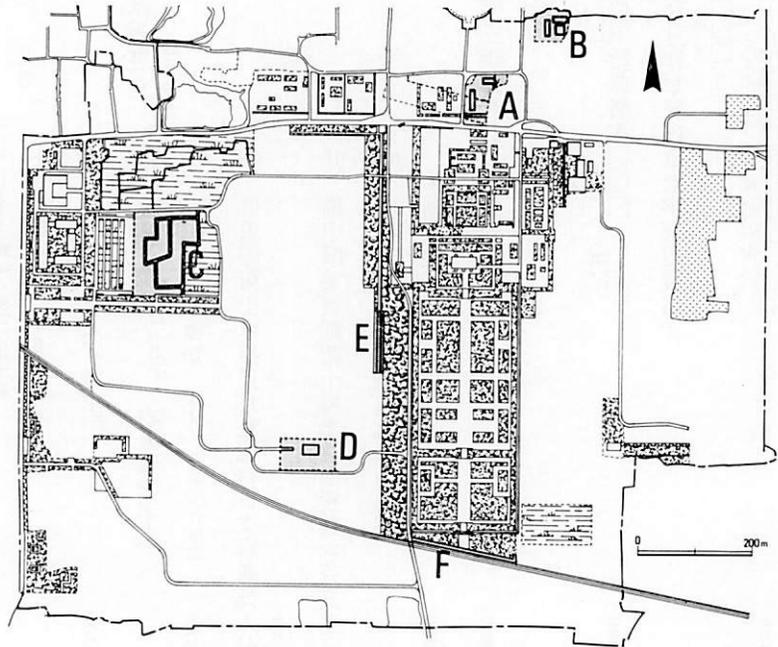
### 1. 平城宮跡の整備(12)

1981年度の宮跡整備は、第2次内裏北方官衙地区整備、水上池尻地区整備、草園整備、第1次朝堂南門基壇整備および中央緑陰帯造成等を行った。

**第2次内裏北方官衙地区整備** 平城宮の北部を東西に貫通する県道(通称一条通)より北側で、佐紀町の民家とはさまれた地区について、国有化の済んでいる約3,630m<sup>2</sup>を整備した。この地域は第13・20次発掘調査で確認されており、掘立柱建物2棟、築地塀1条(延長37m)および下層遺構である市庭古墳周濠などを復原表示した(下図-A)。

**水上池尻地区整備** 建設省および奈良県が奈良盆地北部に整備している広域自転車道が、水上池西岸沿いに平城宮跡の北東部にまで至り、また西方佐伯門跡より西の京方面へと整備されている。しかし水上池方面より自転車道を利用して訪れる見学者を受ける施設がないことや、国有化を早く完了し民家と接した地域であるが未整備であったことから、第129次発掘調査で確認された水上池尻地区の整備を行った。表示した遺構は建物3棟および東大溝1条で、他に宮外自転車道に接続できる宮跡内苑路(幅員4m砕石舗装)を造成した(下図-B)。

**草園整備** 平城宮西部を北から南に貫く谷筋に記画している水面整備の一環として、1979年度に造成した池沼の西側に新たに約5,300m<sup>2</sup>の池沼と7,820m<sup>2</sup>の苑地とを造成した。池沼の造成に際し遺構面に影響を与えない範囲で表土を取り、40cm程度の水深が得られるようにするため池沼を2面に分け造成した。また計画水面は周辺既存池沼より高くなるため、水上池下流水路より分岐した導水路を新設し、2面の池沼を画する土堤は、旧畦畔の痕跡を踏襲して設定し、土堤基底部に粘土の突き固めを行ない漏水を防止した。土堤上面は砕石敷の苑路とし、両側にハクチョウゲ



平城宮跡の整備

を列植し、池沿汀線は竹柵護岸を施した。竹柵の木杭はコンクリートの根巻きをして固定した。なお苑路にはイチイガシ、キンモクセイ、サザンカ、ナツハゼ、苑路沿いにはヤマブキ、アジサイ、ハギ、ツツジ、ウツギ等を、水辺にはカキツバタを植栽した(左図-C)。

**第1次朝堂院南門基壇整備** 第119次調査で確認した第一次朝堂院南門について、その平面規模(26.4×16.15m)を盛土張芝で表示し、周辺に砂利敷、排水用溝を施行した(左図-D)。

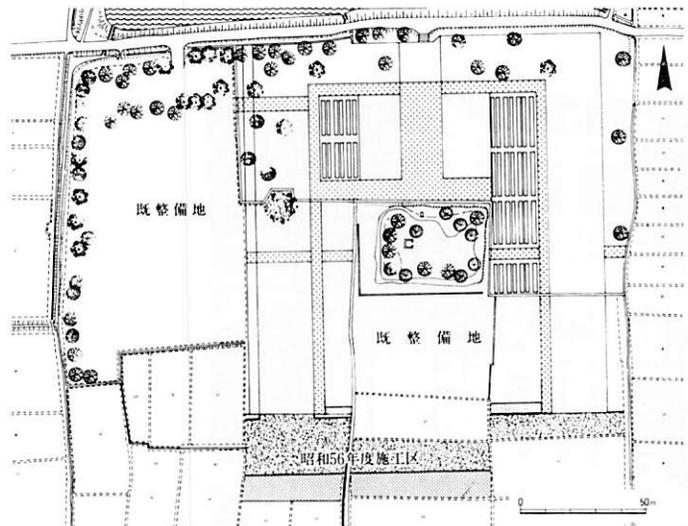
**中央緑陰帯造成** 第1次と第2次の内裏朝堂地区にはさまれ、宮跡中央を南北に走る市道沿いに順次整備を行っている中央緑陰帯は、1981年に奈良県が主催した第35回全国植樹祭の会場として約15,800m<sup>2</sup>を整備したことから、一条通より近鉄線にまで至っている。しかし植樹祭により造成された地区については、緑陰帯内苑路および遺構復原溝等が含まれていなかった。そのため、それらを約2,130m<sup>2</sup>(延長約50m)について整備した(左図-E)。

**その他** 第2次朝集殿の南を走る近鉄線軌道沿いの北側約195m(830m<sup>2</sup>)についてサザンカ、ネズミモチ、キンモクセイの混植を行い、朝集殿側からの軌道景観を遮へいすると共に軌道への侵入を防止するようにした(左図-F)。その他資料館周辺にフェンスを設け、一般利用者空間と研究収蔵空間の分離を図った。

北方官衙整備	水上池尻地区整備	草園整備	第1次朝堂院南門整備	中央緑陰帯造成	その他
3,630m <sup>2</sup> 8,910千円	2,750m <sup>2</sup> 8,415千円	13,120m <sup>2</sup> 32,175千円	5,900m <sup>2</sup> 9,234千円	2,130m <sup>2</sup> 6,075千円	— 15,040千円

## 2. 藤原宮跡の整備(6)

1981年度の藤原宮跡整備は、大極殿南面回廊部分約5,690cm<sup>2</sup>および見学者広場約1,720m<sup>2</sup>を造成した。1972年度より始めた大極殿回廊の保存ブロック造成工事は、南面部を残すだけとなっていた。そこで今年度はこれを整備し、大極殿回廊の整備を完了した。ただし南門及び東南隅に民有地が残っており、その部分が欠けた形となっている。また朝堂院南門の近くで公有化されている部分に、宮本来のアプローチである南からの動線を考慮して、見学者のために広場を設け、今後案内板等を設置出来るようにした。



(渡辺康史・本 中真)

藤原宮跡の整備